

【施策評価調査】

施策名	4-3-2	地域資源を活かした観光		111	施策目的 町内観光資源のPRやイベントを通して、町のイメージアップとブランド化を図り、観光客入り込み数の増大に繋げる。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 産業課	担当	商工業担当		施策内容 農家や観光団体と事業者が連携し、町内最大の観光資源「元気あつむら」を拠点に協調体制を強化して集客イベントや消費者サービスを展開し、周辺地域からの誘客を図ります。またサテライトシステムのなの方策を講じて、町内の特徴ある観光農園等へ誘客し、消費拡大や活性化を図ります。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	石川 正佳		
環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ちよつ蔵ホールの利用件数が年間1000件を超えるなど、TMO高根沢によって、県内においても、画期的な実績を残している。 ・JR宝積寺駅東口に、イルミネーションによる賑わい創出が継続して行われている。 				

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①: 町内への年間観光客入込人数(人)	平成16年度実績	計画	1,327,763人	1,353,797人	1,379,831人	1,405,865人	1,431,901人
	1,301,729人	実績	↑ 1,337,047人	↑ 1,371,070人	↑ 1,382,506人	↓ 1,318,827人	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,660,000	9,300,000	12,800,000	14,500,000	
	決算	10,660,000	9,300,000	12,515,657	4,362,189	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①観光振興費	当初 14,500,000	観光客入込人数	B	たかねビア夏祭り盆踊り花火大会を休止とし、惰性ではなく祭りを原点から考え、行政主導でない、有志による祭りの立ち上げを模索し、動きができたことは、本来の協働によるまちづくりへの第1歩である。			
	決算 4,362,189	1,318,827人 / 1,405,865人		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	<p>従来の方を見直し、有志による祭りの実施に、切り替えたことは、本来の民意を引き出す上で大変有意義である。恒久的に祭りを継続するためにも、町の人口を上回るような規模でなく、町内の老若男女が親しめるように地域に根差すとともに、無理なく参加できるふるさとまつりを企画しようとするテーブルができた。</p>	<p>従来のたかねビア夏祭り盆踊り花火大会の印象が強く、それが高根沢町の祭りであると思っている人が多い。これからのまちづくりは、住民参加の角度から考えないと、行き詰まってしまい何も無くなってしまふ。経済効果を考えたとき、従来の祭りで町外からも沢山の集客があっても、売り上げは町内には落ちていない。地域資源を活かしながら、民意による祭りの開催への支援と、民間によるイベントを恒常化して、安定した集客を図り町のイメージアップに繋いで行く。</p>
総合評価	総合評価	
<p>従来の方を見直し、イベント(祭り)のあり方について検討したことを評価する。検討してきたことを今後どう成果として繋げていくのか、町にある資源をどう活用し、具体的にどう活動していくのか、町がサポートすること、町が行うべきことを整理するとともに、それぞれの関係者(観光協会、商工会、事業者、農業者)等が繋がることで、より成果が上がるような施策展開も検討すること。</p>		